

# 案件化調査 インドネシア共和国 バリ島デンパサール市における、バイオガス・堆肥化による 有機ごみ処理案件化調査

## 企業・サイト概要

- 提案企業：みどり産業株式会社
- 提案企業所在地：千葉県市原市
- サイト・C/P機関：インドネシア共和国バリ島デンパサール市 C/P機関：デンパサール市

## インドネシア共和国の開発課題

- 一般ごみの最終処分場の逼迫
- 最終処分場の処理能力を超える一般ごみが搬入されており、近年内にも処理能力の限界を迎える。
- 加えて、経済発展と人口増加により、一般ごみの排出量増加が見込まれる
- 今後オープンダンピングは禁止されているが、それに代わる低コストのソリューションがない
- 一般ごみの70%を占める有機ごみの処理方法

## 中小企業の技術・製品

- バイオガス化技術
  - 有機ごみから、バイオガスを発生させ、ガスまたはガスを使用した発電によるエネルギー供給を行う
  - 最終的に残る消化液は液肥として使用可能
- 堆肥化技術
  - 有機ごみから、堆肥を生産することで、有機ごみの減量化を図る。
  - 堆肥生産は有機農業の進展に貢献する

## 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 【想定されるODA事業】100トン/日の有機ごみの処理を可能にする施設をベースとした有償・無償資金協力
- 開発効果①：一般ごみの最終処分場への搬入量が30%に低減される。
- その他の開発効果②：地球温暖化防止、有機農業の促進、再生可能エネルギーの供給、国際観光都市デンパサールのイメージ向上

## 日本の中小企業のビジネス展開

- 有機ごみを対象とした「バイオガス化、堆肥化」によるごみの減量ビジネスを提案。
- 地方自治体からごみ処理を受託、初期費用を返済しながら利益を上げるモデルの確立を目指す。収入源は、処理費用とバイオガス・堆肥の販売益となる。

